

「主の良くして下さった事を何一つ忘れない」 詩篇103：1－14

祈り続けて来ましたクリスマスの集會に現れた主の恵みを感謝します。サニーキッズのクリスマス会が、教会員の参加により、サニーキッズ教師だけの働きではなく、教会の業としていただいた主の恵み。ファミリークリスマス会にお誘いした方々やチラシを見て来て下さった方々を与えて下さった主の恵み。クリスマス礼拝にお誘いした方々やゴスペル教室に来られた方々を主が送って下さった恵み。各集會のすべての奉仕者の支えの恵み。集會をする会堂や駐車場が与えられている恵み！何一つ当然ではない。この一年の最後の礼拝に参加でき感謝します。素晴らしい御言葉に耳を傾けましょう！

I 「わがたましいよ。主をほめたたえよ。私のうちにあるすべてのものよ。聖なる御名をほめたたえよ。わがたましいよ。主をほめたたえよ。主の良くして下さったことを何一つ忘れるな」：1，2。1. この御言葉は、非常に重要な事を教えている。喜びの時も、非常な苦しみの時も、自分の魂、心に語り掛ける事！否定的な言葉「もう駄目だ。主は、私の事など、忘れておられる、見捨てられた」ではなく、自分に御言葉を、御言葉を土台とした言葉を語り掛ける事が聖書が教えて下さる靈的秘訣。※プロの選手も自分に語り掛ける事は実践している。しかし、クリスチャンの特別な特権は、生きておられる神の力ある御言葉を自分に語り掛けられる事、幸い→「この地上にいる間は、いつも苦しみ、悩み、困難な事は、ある。しかし主は、困難な中にある私と共におられる。インマヌエル。深く理解し支えて下さる。課題を正直に祈ろう。と同時に、今、悩み、課題がある中でも、この一年、そして、命が与えられてから今日まで、主の良くして下さった恵みを忘れず、数えて、記し、主をほめたたえ、心から感謝しよう！」と語りかけたい。2. どうして「何一つ忘れるな」と言われるのか。それは、私達は、不平、不満、文句を言うのに早く、主の良くして下さった事を忘れるのに早いから。また、罪人である私達に与えられているすべての主の恵みは、皆、驚くべき恵みにもかかわらず、私達は、いつの間にか、驚きを忘れ、数々の恵みを当然の事のように思い、感謝の心を失う。だから、新約聖書にも、次の御言葉がある→「いつでも、すべてのことについて、私たちの主イエス・キリストの名によって父なる神に感謝しなさい」（エペソ5：20）。「感謝の心を持つ人になりなさい」（コロ3：15）。「いつも喜んでいなさい（無理をして喜びの感情を持つ事ではない。主ご自身、主の救い、主の愛、主が共にいて下さることを喜びなさい）。絶えず祈りなさい（絶えず神と交わり、神の抛り頼みなさい）。すべての事について、感謝しなさい（主の良くして下さった事を何一つ忘れず、すべての事について感謝しなさい）」（Iテサ5：16－18）。苦しみを通して深い事を学んだ詩篇の記者は、こう証ししている→「苦しみに会う前には、私はあやまちを犯しました。しかし今は、あなたのことばを守ります。…苦しみに会ったことは、私にとってしあわせでした。私はそれであなたのおきてを学びました」（詩119：67，71）。神は、私達を愛しておられるので、苦しみを通して罪、過ちに気づかせ、神に立ち返らせ、御言葉を頭だけでなく、人格の深い所で学ばせ靈的に成長させられる。※但し、苦しみの中にいる人々の感情、気持ち、状況は、皆それぞれ違うので、上から目線で、うわべの言葉で励まそうと、あせってはならない。静かに寄り添う、耳を傾ける事が愛である。人には理解できない、隠されていることも多い。しかし、その中で神は私達と共におられることは変わらない恵み！

Ⅱ ①「主は、あなたのすべての咎を赦し」：3。この一年、そして今日まで私達が、主に対して犯した罪は、数えきれない。しかし、神は、主の十字架の贖い、償いの恵みの故に、私達が自分の罪を告白する時、赦して下さり、神との幸いな関係が回復し、神と交わる事ができる。これが、感謝すべき最初にあるのは深い意味がある。神に赦され神との関係の回復こそ、他のすべての恵みの源だから。神の赦しが無ければ、私達は、今日生きていないし、とっくに永遠の滅びに入れられている。主の赦しを感謝します。②「あなたのすべての病をいやし」：3。これは、すべての病が癒されるという意味ではない。私達は、自分の病と付き合いつつ生きる必要がある。と同時に、生まれてから今日まで、多くの病を癒されてきた事も事実。その恵みを主に心から感謝したい。私達もいつかは、直らない病にかかるかもしれない。その時、死を迎える準備をしなければならないが、主を信じる者にとり死を迎える事は、天国の主を迎えられる恵みである事を深く覚えたい。この福音を家族、知人に伝えたい。③「あなたのいのちを穴から贖い、あなたに、恵みとあわれみの冠をかぶらせ」：4。私達の罪の為に十字架で死なれた主は、死に勝利され復活された。その主は、主を信じる私達の命を滅びの穴から救い出し、永遠の命を与え、恵みと憐れみを与えられる。④「あなたの一生を良いもので満たされる」：5。不平、不満ではなく、神から与えられた良いものを一つ一つ感謝する心を持つ人は、満ち足りる事を知る幸いな人。「満ち足りる心（感謝の心）を伴う敬虔こそ、大きな利益を受ける道です。私達は何一つこの世に持って来なかったし、また何一つ持って出ることもできません。衣食があれば、それで満足すべきです」（I テモ 6：6-8）。今日まで生かされている恵み、主の祈りで祈る「日ごとの糧」が与えられている恵みを当然と思わず、心から感謝したい。⑤「あなたの若さは、鷲のように、新しくなる」：5。キリスト者も年を取る。しかし、「私達は勇気を失いません。たとい私たちの外なる人（肉体）は衰えても、内なる人（主を信じ新しく造られたいのち）は日々新たにされています」Ⅱ コリ 4：16。私達には、苦しみ、課題はあるが、主からの数えきれない恵みを感謝しつつ、新しい年を主と共に迎えたい。